

ACT 運賃計算サービス

API リファレンス
Ver.1.0

ACT 運賃計算サービス API リファレンス

2022年 3月14日 初版発行

2022年 8月18日 第2版発行

2023年12月22日 第3版発行

編著者・発行人 アドバンスド・コア・テクノロジー株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋3-7-4 赤レンガ通りビル2F

電話 03-5512-9021 FAX 03-5512-9022

本書に記載されている事項は、予告なしに変更されることがあります。

アドバンスド・コア・テクノロジー株式会社は本書に記載されている事項に関して一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の一部または全部をアドバンスド・コア・テクノロジー株式会社の書面による承諾なしに複製することは禁じられています。

Copyright (C) 2022 - 2023 by Advanced Core Technologies, Inc.

All rights reserved. No part of the contents of this book may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the written permission of the publisher.

本書掲載の製品または製品名称は各社の商標または登録商標です。

ACT 運賃計算サービス API リファレンス 目次

1. ACT 運賃計算サービスの概要.....	1-1
2. サービスの呼出し手順.....	2-1
3. 適用開始日と計算基準日	3-1
4. メソッド.....	4-1
4. 1 メソッド一覧.....	4-1
4. 2 共通の仕様.....	4-3
4. 3 管理機能	4-4
(1) アカウント情報取得	4-4
4. 4 計算用トークン関連機能.....	4-6
(1) 計算用トークン取得	4-6
(2) 計算用トークン利用可能判定.....	4-7
(3) 計算用トークン削除	4-8
4. 5 運賃表関連機能	4-9
(1) 運賃表登録.....	4-9
(2) 運賃表取得.....	4-11
(3) 運賃表削除.....	4-13
(4) 運賃表一覧取得.....	4-14
(5) 運賃計算.....	4-16
4. 6 距離呈関連機能	4-23
(1) 距離呈登録.....	4-23
(2) 距離呈取得.....	4-25
(3) 距離呈削除.....	4-27
(4) 距離呈一覧取得.....	4-28
(5) 距離取得.....	4-30
4. 7 運賃プロフィール関連機能	4-32
(1) 運賃プロフィール登録.....	4-32
(2) 運賃プロフィール取得.....	4-34
(3) 運賃プロフィール削除.....	4-36
(4) 運賃プロフィール一覧取得	4-37
(5) 運賃計算.....	4-39
4. 8 エラーコード	4-51

5. ファイル書式.....	5-1
5. 1 共通の仕様.....	5-1
5. 2 運賃表.....	5-2
(1) 積上げ運賃表.....	5-2
(2) 積合せ運賃表（標準／四捨五入なし）.....	5-4
(3) 距離制貸切運賃表.....	5-6
(4) 時間制貸切運賃表（8時間制／4時間制）.....	5-8
(5) 宅配運賃表.....	5-10
(6) 宅配運賃表（重量・三辺計）.....	5-13
(7) 箱単価運賃表.....	5-16
(8) トンキロ運賃表.....	5-18
(9) 地域別運賃表.....	5-20
(10) 特殊コード運賃表.....	5-22
5. 3 距離呈.....	5-24
5. 4 運賃プロファイル.....	5-25
(1) 積上げ運賃プロファイル.....	5-25
(2) 積合せ運賃プロファイル.....	5-28
(3) 距離制貸切運賃プロファイル.....	5-31
(4) 時間制貸切運賃プロファイル.....	5-34
(5) 宅配運賃プロファイル.....	5-37
(6) 箱単価運賃プロファイル.....	5-39
(7) トンキロ運賃プロファイル.....	5-41
(8) 地域別運賃プロファイル.....	5-44
(9) 特殊コード運賃プロファイル.....	5-47
6. 端数処理、按分処理.....	6-1
6. 1 端数処理.....	6-1
6. 2 按分処理.....	6-1
7. 政令指定都市住所コード.....	7-1
8. サンプルプログラム.....	8-1
9. 注意事項.....	9-1

改版履歴

版数	年月日	内容
初版	2022年3月14日	初版発行
第2版	2022年8月18日	9. 注意事項を追加
第3版	2023年12月22日	7. 政令指定都市住所コードに浜松市の新しい区を追加

1. ACT 運賃計算サービスの概要

ACT 運賃計算サービスは、運賃表や距離呈を組み合わせて運賃を計算する WEB サービスです。ACT 運賃計算サービスは、次の運賃形式（以下「運賃種別」と記述します）の計算機能を提供しています。

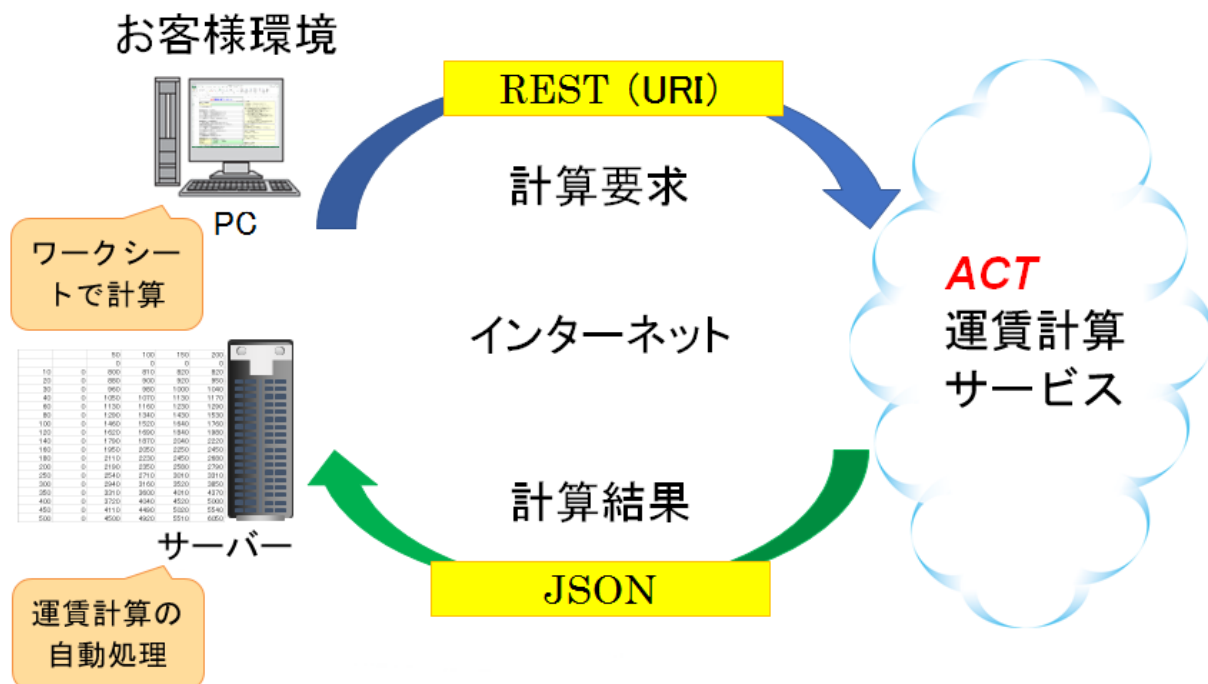
項番	運賃種別	説明
1	積上げ運賃	一定距離の単価による運賃計算
2	積合せ運賃（標準）	荷物の重量と距離による運賃計算
3	積合せ運賃（四捨五入なし）	積合せ運賃（標準）から追加金額の四捨五入処理を除いた運賃計算
4	距離制貸切運賃	車両サイズと距離による運賃計算
5	時間制貸切運賃（8時間制）	車両サイズ、距離と作業時間による運賃計算
6	時間制貸切運賃（4時間制）	車両サイズ、距離と作業時間による運賃計算 基礎作業時間が午前から午後にわたる場合は、超過作業時間の起算点が正午になります
7	宅配運賃	発着住所コードと重量などによる運賃計算
8	宅配運賃（三辺計・重量）	発着住所コード、三辺計と重量による運賃計算
9	箱単価運賃	発着住所コードと1箱当たりの単価による運賃計算
10	トンキロ運賃	積荷1kg当たりの単価による運賃計算
11	地域別運賃	住所コードと重量などによる運賃計算
12	特殊コード運賃	識別用の特殊コードと重量などによる運賃計算

運賃表単体で運賃を計算することもできますが、運賃プロファイルと呼ぶ計算方法の設定ファイルを用いて運賃計算をカスタマイズできます。

運賃プロファイルを使用することで、発地住所コードと着地住所コードの組み合わせから距離を決定する距離呈の使用、同じ届け先の取り纏め・運賃按分計算、運賃計算後の端数処理を行うことができます。



ACT 運賃計算サービスを利用するには、クライアント（お客様側）から計算要求メッセージを ACT 運賃計算サービスのサーバーに送信します。サーバーでは、受信した計算要求メッセージを解析し、処理を行います。処理が終了すると、計算結果メッセージをクライアントへ返信します。お客様側環境では ACT 運賃計算ワークシート（弊社ホームページで公開）などのアプリのほか、サーバー上に実装したお客様独自のアプリケーションを使用することができます。本書はアプリケーション開発のための API を解説するものです。

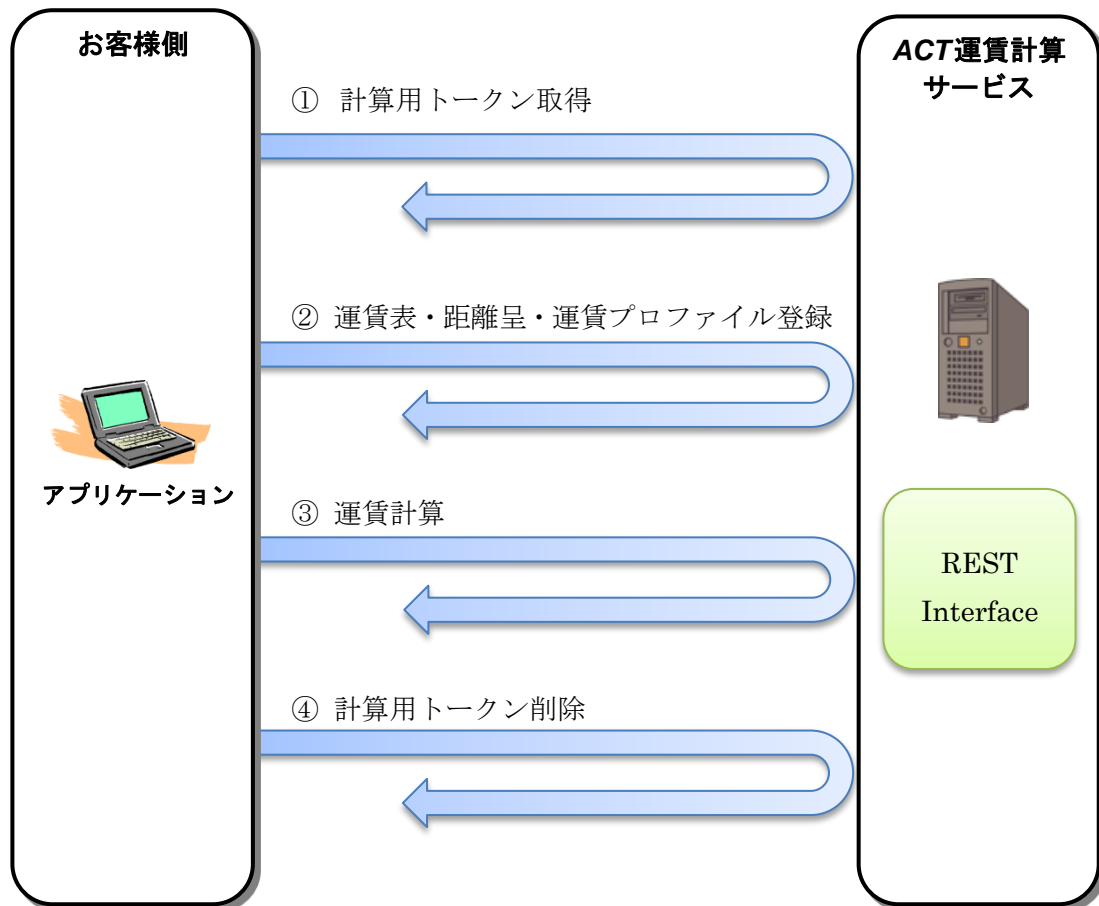


ACT 運賃計算サービスのサーバーの通信には REST を使用します。

REST の下位プロトコルは、セキュリティの観点から HTTPS（ポート番号 443）のみに対応しています。

2. サービスの呼び出し手順

運賃計算サービスは、次のような手順で処理を行います。



- ① 計算用トークン取得メソッドを呼び出します。
ユーザーID とパスワードをサーバーへ送信し、計算用トークンを取得します。
運賃計算サービスの各種メソッド呼び出し時にこの計算用トークンを送信する必要があります。
- ② 運賃表・距離呈・運賃プロファイル登録メソッドを呼び出します。
運賃計算サービスは計算用トークン単位で運賃表・距離呈・運賃プロファイルを管理します。
- ③ 運賃計算メソッドを呼び出します。
一度に計算できる運賃数には上限があるので、全て計算するまで繰り返し呼び出します。
- ④ 計算用トークン削除メソッドを呼び出します。
計算が終了した時点で計算用トークンを削除します。
計算用トークンを削除すると登録した運賃表・距離呈・運賃プロファイルも同時に削除されます。また、計算用トークンを使うメソッドに 5 分以上アクセスがなかった場合、自動的に計算用トークンは削除されます。

3. 適用開始日と計算基準日

本サービスでは運賃表・距離呈・運賃プロフィールを ID と適用開始日で管理しています。たとえば、運賃表は下図のように管理しています。

運賃表 ID	適用開始日	運賃種別	運賃表名称
dist_001	19900401	120	北海道距離制貸切（平成2年）
dist_002	19940401	120	北海道距離制貸切（平成6年）
time_001			

適用開始日	運賃種別	運賃表名称
19900401	120	東北距離制貸切（平成2年）
19940401	120	東北距離制貸切（平成6年）

適用開始日	運賃種別	運賃表名称
19900401	130	北海道時間制貸切（平成2年）
19940401	130	北海道時間制貸切（平成6年）

運賃表 ID は運賃表の識別コードを表します。上図では「dist_001」に北海道距離制貸切運賃、「dist_002」に東北距離制貸切運賃、「time_001」に北海道時間制貸切運賃を割り当てています。

同じ運賃表 ID で適用開始日の異なる複数の運賃表を登録できます。運賃を改定する場合に同じ運賃表 ID で適用開始日の異なる運賃表を登録すると、運賃計算時の計算基準日によって使用する運賃表を自動で切り替えます。

(例) 運賃表 ID 「dist_001」で計算する場合

項番	計算基準日	使用される運賃表
1	～19900331	該当する運賃表がないため計算に失敗します
2	19900401～19940331	北海道距離制貸切（平成2年）
3	19940401～	北海道距離制貸切（平成6年）

ID・適用開始日と計算基準日の関係は、距離呈や運賃プロフィールも運賃表の場合と同じです。

4. メソッド

4.1 メソッド一覧

各メソッドは下の形式の URL と HTTP メソッドの組み合わせで呼び出します。

`https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/{path}?{parameters}`

運賃計算サービスで提供するメソッドは下表のとおりです。

管理機能

項番	path	HTTP メソッド	説明
1	information	GET	アカウントの情報を取得します。

計算用トークン関連機能

項番	path	HTTP メソッド	説明
2	token	POST	計算用トークンを取得します。
3	token	GET	計算用トークンが利用可能か判定します。
4	token	DELETE	計算用トークンを削除します。

運賃表関連機能

項番	path	HTTP メソッド	説明
5	tariff	POST	運賃表を登録します。
6	tariff	GET	運賃表を取得します。
7	tariff	DELETE	運賃表を削除します。
8	tariff/index	GET	運賃表の一覧を取得します。
9	tariff/calc	POST	運賃を計算します。

距離呈関連機能

項番	path	HTTP メソッド	説明
10	distance	POST	距離呈を登録します。
11	distance	GET	距離呈を取得します。
12	distance	DELETE	距離呈を削除します。
13	distance/index	GET	距離呈の一覧を取得します。
14	distance/calc	POST	距離を取得します。

運賃プロフィール関連機能

項番	path	HTTP メソッド	説明
15	profile	POST	運賃プロフィールを登録します。
16	profile	GET	運賃プロフィールを取得します。
17	profile	DELETE	運賃プロフィールを削除します。
18	profile/index	GET	運賃プロフィールの一覧を取得します。
19	profile/calc	POST	運賃を計算します。

4. 2 共通の仕様

全てのメソッドで共通の仕様は以下の通りです。

- ユーザー認証は、HTTP ヘッダーに「X-ACT-Authorization」を追加し、「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードしたものを値に設定してください。
- 必須パラメーターは省略できません。
- 省略可能なパラメーターは既定値をご確認ください。
- JSON を送受信する場合、文字コードは UTF-8 です。
- HTTP メソッドが POST でリクエストボディが JSON の場合、HTTP ヘッダーに「Content-Type: application/json; charset=utf-8」を設定してください。
- HTTP メソッドが POST でリクエストボディがファイルの場合、HTTP ヘッダーに「Content-Type: application/octet-stream」を設定してください。
- 運賃表ファイル、距離呈ファイル、運賃プロファイルファイルは文字コードがシフト JIS (CP932) で改行コードが CR/LF のタブ区切りテキストファイルです。

4. 3 管理機能

(1) アカウント情報取得

アカウントの情報を取得します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/information
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	name	文字列	ユーザーID
4	expiryDate	文字列	有効期限 (yyyyMMdd 形式) 20220131 の場合、2022 年 1 月 31 日です。
5	maxToken	数値	最大計算用トークン数 同時に作成できる計算用トークンの最大数です。
6	maxTariff	数値	最大運賃表登録数 計算用トークンに登録できる運賃表の最大数です。
7	maxDistance	数値	最大距離呈登録数 計算用トークンに登録できる距離呈の最大数です。
8	maxProfile	数値	最大運賃プロフィール登録数 計算用トークンに登録できる運賃プロフィールの最大数です。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	フィールド名	データ型	内容
9	maxCalcCount	数値	最大計算回数 計算できる最大回数です。0 以下の場合、無制限です。
10	calcCount	数値	累計計算回数
11	maxCalcRecord	数値	計算 1 回あたりの最大計算レコード数

● 例

レスポンスボディ

```
{  
  "errorCode": 0,  
  "errorMessage": "",  
  "name": "xxxx",  
  "expiryDate": "20221231",  
  "maxToken": 1,  
  "maxCalcCount": 0,  
  "calcCount": 15,  
  "maxCalcRecord": 1000,  
  "maxTariff": 5,  
  "maxDistance": 5,  
  "maxProfile": 5  
}
```

4. 4 計算用トークン関連機能

(1) 計算用トークン取得

運賃計算に使用する計算用トークンを取得します。

同時に作成できる計算用トークン数は契約内容によって異なります。最大計算用トークン数はアカウント情報取得メソッドで取得できます。

取得した計算用トークンは、5分以上利用されないと自動的に削除されます。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/token
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	token	文字列	計算用トークン

● 例

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "token": "f0c05a3573c8412cbb7af272d59731ed"
}
```

(2) 計算用トークン利用可能判定

計算用トークンが利用できるか判定します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/token
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	isAvailable	ブール値	トークン利用可能フラグ true の場合、このトークンは利用可能です。

● 例

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "isAvailable": true
}
```


(3) 計算用トークン削除

計算用トークンを削除します。

計算用トークンを削除すると計算用トークンを利用して登録した運賃表・距離呈・運賃プロフィールも削除されます。

取得した計算用トークンは、5分以上利用されないと自動的に削除されます。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/token
2	HTTP メソッド	DELETE
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": ""
}
```

4. 5 運賃表関連機能

(1) 運賃表登録

運賃表ファイルをサーバーにアップロードして登録します。

登録できる運賃表の数には上限がありますので注意してください。登録できる運賃表の最大数はアカウント情報取得サービスで確認できます。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff?{parameters}
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン
5		Content-Type: application/octet-stream
6	HTTP ボディ	運賃表ファイル 文字コードはシフト JIS (CP932) で改行コードは CR/LF です。 最大サイズは 5M バイト (5000000 バイト) です。

省略可能パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	alformat	エラーメッセージの運賃表エラー箇所を A1 形式にするフラグ 0 (半角) : (デフォルト) 行列形式 (例 : 3 行 2 列) 1 (半角) : A1 形式 (例 : B3)

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

`https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff?a1format=1`

レスポンスボディ

```
{  
  "errorCode": 402,  
  "errorMessage": "運賃表の変換に失敗しました。¥r¥n 運賃が未入力です。(位置 C8)"  
}
```

(2) 運賃表取得

運賃表ファイルをサーバーからダウンロードして取得します。

成功時に運賃表データが返り、失敗時に JSON が返るので注意してください。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff?{parameters}
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

必須パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	id	取得する運賃表の運賃表 ID
2	date	取得する運賃表の適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。

● レスポンス (成功時)

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/octet-stream
2	HTTP ボディ	運賃表ファイル 文字コードはシフト JIS (CP932) で改行コードは CR/LF です。

● レスポンス (失敗時)

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

`https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff?id=sample100-00&date=20010101`

レスポンスボディ (失敗時)

```
{  
  "errorCode": 401,  
  "errorMessage": "指定された運賃表が見つかりませんでした。"  
}
```

(3) 運賃表削除

登録した運賃表をサーバーから削除します。

- リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff?{parameters}
2	HTTP メソッド	DELETE
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

必須パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	id	削除する運賃表の運賃表 ID
2	date	削除する運賃表の適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。

- レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

- 例

リクエスト

https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff?id=sample100-00&date=20010101

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": ""
}
```

(4) 運賃表一覧取得

登録した運賃表の一覧を取得します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff/index
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	index	配列	運賃表情報オブジェクトの配列
4	id	文字列	運賃表 ID
5	name	文字列	運賃表名称
6	type	数値	運賃種別
7	date	文字列	適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
8	creationDate	文字列	作成日時 (yyyyMMddHHmmssfff 形式) 2022 年 1 月 1 日 1 時 2 分 3 秒 456 の場合、 20220101010203456 です。

● 例

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "index": [
    {
      "id": "sample100-00",
      "name": "積上げ運賃",
      "type": 100,
      "date": "20010101",
      "creationDate": "20220117161948796"
    },
    {
      "id": "sample180-00",
      "name": "特殊コード運賃",
      "type": 180,
      "date": "20010101",
      "creationDate": "20220117153400715"
    }
  ]
}
```


(5) 運賃計算

運賃表を使用して運賃を計算します。

計算する運賃種別によってリクエストボディの内容が異なるので注意してください。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/tariff/calc
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン
5		Content-Type: application/json; charset=utf-8

積上げ運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する積上げ運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	距離 (km) などのパラメーター 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)

積合せ運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する積合せ運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	数値	距離 (km) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)

距離制貸切運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する距離制貸切運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	数値	距離 (km) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)

時間制貸切運賃のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する時間制貸切運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	開始時間 (HHmm 形式) 8 時 5 分は 0805、15 時 30 分は 1530 です。 4 時間制貸切運賃計算 (運賃種別 131) の場合に使用します。8 時間制貸切運賃計算 (運賃種別 130) の場合は使用しないので 0 にしてください。
6	2 番目の要素	数値	作業時間 (分) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
7	3 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
8	4 番目の要素	数値	距離 (km) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)

宅配運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する宅配運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) 運賃種別 140 の場合、重量または三辺計の大きい方を計算に使用します。
6	2 番目の要素	数値	三辺計 (cm) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) 運賃種別 140 の場合、重量または三辺計の大きい方を計算に使用します。
7	3 番目の要素	文字列	発地住所コード 運賃種別 140 の場合 5 桁までの住所コード (半角) 運賃種別 141 の場合 8 桁までの住所コード (半角)
8	4 番目の要素	文字列	着地住所コード 運賃種別 140 の場合 5 桁までの住所コード (半角) 運賃種別 141 の場合 8 桁までの住所コード (半角)

箱単価運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する箱単価運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	箱数 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	数値	1 箱あたりの重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
7	3 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角)
8	4 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角)

トンキロ運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用するトンキロ運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	車両の最大積載量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	数値	積荷の重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
7	3 番目の要素	数値	距離 (km) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)

地域別運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する地域別運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	文字列	住所コード 8 桁までの住所コード (半角)

特殊コード運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する特殊コード運賃表 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	文字列	特殊コード 最大長：半角文字 67 文字、全角文字 33 文字

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	fares	配列	運賃 (数値型) の配列 計算できない場合、運賃は負数になります。 -1 : 計算に失敗しました。 -2 : パラメーターが異常です。 -3 : 運賃表に該当する運賃が見つかりませんでした。 -4 : 計算中にオーバーフローが発生しました。

● 例

リクエストボディ (積上げ運賃計算)

```
{
  "id": "sample100-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [2],
    [2.274]
  ]
}
```

リクエストボディ (積合せ運賃計算)

```
{
  "id": "sample110-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [10,10],
    [15,100]
  ]
}
```

リクエストボディ（距離制貸切運賃計算）

```
{
  "id": "sample110-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [30,50],
    [150,100]
  ]
}
```

リクエストボディ（時間制貸切運賃計算）

```
{
  "id": "sample130-03",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [800,240,50,100],
    [1330,240,100,1500]
  ]
}
```

リクエストボディ（宅配運賃計算）

```
{
  "id": "sample141-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [10,50,"13","01"],
    [30,100,"13","02"]
  ]
}
```

リクエストボディ（箱単価運賃計算）

```
{
  "id": "sample150-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [10,10,"13","01"],
    [30,100,"13103","01100"]
  ]
}
```

リクエストボディ (トンキロ運賃計算)

```
{
  "id": "sample160-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [1000,500,500],
    [3000,1500,700]
  ]
}
```

リクエストボディ (地域別運賃計算)

```
{
  "id": "sample170-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [10,"13101"],
    [50,"13103"]
  ]
}
```

リクエストボディ (特殊コード運賃計算)

```
{
  "id": "sample180-00",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [30,"A100"],
    [50,"D200"]
  ]
}
```

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "fares": [660.0,740.0]
}
```

4. 6 距離呈関連機能

(1) 距離呈登録

距離呈ファイルをサーバーにアップロードして登録します。

登録できる距離呈の数には上限がありますので注意してください。登録できる距離呈の最大数はアカウント情報取得サービスで確認できます。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance?{parameters}
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン
5		Content-Type: application/octet-stream
6	HTTP ボディ	距離呈ファイル 文字コードはシフト JIS (CP932) で改行コードは CR/LF です。 最大サイズは 5M バイト (5000000 バイト) です。

省略可能パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	alformat	エラーメッセージの距離呈エラー箇所を A1 形式にするフラグ 0 (半角) : (デフォルト) 行列形式 (例 : 3 行 2 列) 1 (半角) : A1 形式 (例 : B3)

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

`https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance?a1format=1`

レスポンスボディ

```
{  
  "errorCode": 502,  
  "errorMessage": "距離呈の変換に失敗しました。¥r¥n 距離が未入力です。(位置 D7)"  
}
```

(2) 距離呈取得

距離呈ファイルをサーバーからダウンロードして取得します。
成功時に距離呈データが返り、失敗時に JSON が返るので注意してください。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance?{parameters}
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

必須パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	id	取得する距離呈の距離呈 ID
2	date	取得する距離呈の適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。

● レスポンス (成功時)

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/octet-stream
2	HTTP ボディ	距離呈ファイル 文字コードはシフト JIS (CP932) で改行コードは CR/LF です。

● レスポンス (失敗時)

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

`https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance?id=distance-1000&date=20010101`

レスポンスボディ (失敗時)

```
{  
  "errorCode": 501,  
  "errorMessage": "指定された距離量が見つかりませんでした。"  
}
```

(3) 距離呈削除

登録した距離呈をサーバーから削除します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance?{parameters}
2	HTTP メソッド	DELETE
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

必須パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	id	削除する距離呈の運賃表 ID
2	date	削除する距離呈の適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance?id=distance-1000&date=20010101

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": ""
}
```

(4) 距離呈一覧取得

登録した距離呈の一覧を取得します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance/index
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	index	配列	距離呈情報オブジェクトの配列
4	id	文字列	距離呈 ID
5	name	文字列	距離呈名称
6	type	数値	距離呈種別
7	date	文字列	適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
8	creationDate	文字列	作成日時 (yyyyMMddHHmmssfff 形式) 2022 年 1 月 1 日 1 時 2 分 3 秒 456 の場合、 20220101010203456 です。

● 例

レスポンス

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "index": [
    {
      "id": "distance-1000",
      "name": "港区距離呈",
      "type": 1000,
      "date": "20010101",
      "creationDate": "20220121144837708"
    }
  ]
}
```

(5) 距離取得

距離呈を使用して距離を取得します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/distance/calc
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン
5		Content-Type: application/json; charset=utf-8

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	使用する距離呈 ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角)
6	2 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角)

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	フィールド名	データ型	内容
3	distances	配列	距離（数値型）の配列 取得できない場合、距離は負数になります。 -1：取得に失敗しました。 -2：パラメーターが異常です。 -3：距離呈に該当する距離が見つかりませんでした。 -4：計算中にオーバーフローが発生しました。

● 例

リクエストボディ

```
{
  "id": "distance-1000",
  "date": "20010101",
  "records": [
    ["13103","13100"],
    ["13103","13101"]
  ]
}
```

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "distances": [-3,4.8]
}
```


4. 7 運賃プロフィール関連機能

(1) 運賃プロフィール登録

運賃プロフィールファイルをサーバーにアップロードして登録します。

登録できる運賃プロフィールの数には上限がありますので注意してください。登録できる運賃プロフィールの最大数はアカウント情報取得サービスで確認できます。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile?{parameters}
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン
5		Content-Type: application/octet-stream
6	HTTP ボディ	運賃プロフィールファイル 文字コードはシフト JIS (CP932) で改行コードは CR/LF です。 最大サイズは 5M バイト (5000000 バイト) です。

省略可能パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	alformat	エラーメッセージの運賃プロフィールのエラー箇所を A1 形式にするフラグ 0 (半角) : (デフォルト) 行列形式 (例 : 3 行 2 列) 1 (半角) : A1 形式 (例 : B3)

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

```
https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile?a1format=1
```

レスポンスボディ

```
{  
  "errorCode": 602,  
  "errorMessage": "運賃プロファイルの変換に失敗しました。¥r¥n 運賃プロファイル ID  
が読み取れませんでした。(位置 B2)"  
}
```

(2) 運賃プロフィール取得

運賃プロフィールをサーバーからダウンロードして取得します。

成功時に運賃プロフィールデータが返り、失敗時に JSON が返るので注意してください。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile?{parameters}
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

必須パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	id	取得する運賃プロフィールの運賃表 ID
2	date	取得する運賃プロフィールの適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。

● レスポンス (成功時)

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/octet-stream
2	HTTP ボディ	運賃プロフィールファイル 文字コードはシフト JIS (CP932) で改行コードは CR/LF です。

● レスポンス (失敗時)

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

`https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile?id=sample100-00&date=20010101`

レスポンスボディ (失敗時)

```
{  
  "errorCode": 601,  
  "errorMessage": "指定された運賃プロファイルが見つかりませんでした。"  
}
```

(3) 運賃プロファイル削除

登録した運賃プロファイルをサーバーから削除します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile?{parameters}
2	HTTP メソッド	DELETE
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

必須パラメーター

項番	パラメーター名	内容
1	id	削除する運賃プロファイルの運賃表 ID
2	date	削除する運賃プロファイルの適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)

● 例

リクエスト URL

https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile?id=sample100-00&date=20010101

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": ""
}
```

(4) 運賃プロファイル一覧取得

登録した運賃プロファイルの一覧を取得します。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile/index
2	HTTP メソッド	GET
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	index	配列	運賃プロファイル情報オブジェクトの配列
4	id	文字列	運賃プロファイル ID
5	name	文字列	運賃プロファイル名称
6	type	数値	運賃プロファイル種別
7	date	文字列	適用開始日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
8	creationDate	文字列	作成日時 (yyyyMMddHHmmssfff 形式) 2022 年 1 月 1 日 1 時 2 分 3 秒 456 の場合、 20220101010203456 です。

● 例

レスポンスボディ

```
{
  "errorCode": 0,
  "errorMessage": "",
  "index": [
    {
      "id": "sample110",
      "name": "積合せプロファイル",
      "type": 110,
      "date": "20010101",
      "creationDate": "20220121130424655"
    },
    {
      "id": "sample140",
      "name": "宅配プロファイル",
      "type": 140,
      "date": "20010101",
      "creationDate": "20220121130515431"
    }
  ]
}
```

(5) 運賃計算

運賃プロファイルを使用して積上げ運賃を計算します。

運賃プロファイル種別によってリクエストボディの内容が異なるので注意してください。

またリクエストボディの records 配列の要素は省略できません。

● リクエスト

項番	項目	内容
1	URL	https://distcalc.act-inc.co.jp/fare/v1/api/profile/calc
2	HTTP メソッド	POST
3	HTTP ヘッダー	X-ACT-Authorization: 「ユーザー名:パスワード」を BASE64 エンコードした値
4		X-ACT-FARE-Token: 取得した計算用トークン
5		Content-Type: application/json; charset=utf-8

積上げ運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する積上げ運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	outputDistances	ブール値	距離呈適用後距離取得フラグ true の場合レスポンスに距離呈適用後距離 (distances) が出力されます。
4	records	配列	計算レコード配列の配列
5	(名称なし)	配列	計算レコード配列
6	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー 最大長: 64 文字 同じ取り纏めキーの計算レコードは一つにまとめて計算され、距離などのパラメーター (2 番目の要素) の値で按分されます。未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
7	2 番目の要素	数値	距離 (km) などのパラメーター -1, 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) -1: 距離呈から取得した距離で運賃を計算します。 0 以上: 入力された値を使用して運賃を計算します。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	フィールド名	データ型	内容
8	3 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。
9	4 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。

積合せ運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する積合せ運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	outputDistances	ブール値	距離呈適用後距離取得フラグ true の場合レスポンスに距離呈適用後距離 (distances) が出力されます。
4	records	配列	計算レコード配列の配列
5	(名称なし)	配列	計算レコード配列
6	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー 最大長 : 64 文字 同じ取り纏めキーの計算レコードは一つにまとめて計算され、重量 (2 番目の要素) の値で按分されます。未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
7	2 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
8	3 番目の要素	数値	距離 (km) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) -1 : 距離呈から取得した距離で運賃を計算します。 0 以上 : 入力された値を使用して運賃を計算します。
9	4 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。
10	5 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。

距離制貸切運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する距離制貸切運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	outputDistances	ブール値	距離呈適用後距離取得フラグ true の場合レスポンスに距離呈適用後距離 (distances) が出力されます。
4	records	配列	計算レコード配列の配列
5	(名称なし)	配列	計算レコード配列
6	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー 最大長：64 文字 同じ取り纏めキーの計算レコードは一つにまとめて計算され、重量 (2 番目の要素) の値で按分されます。 未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
7	2 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
8	3 番目の要素	数値	距離 (km) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) -1：距離呈から取得した距離で運賃を計算します。 0 以上：入力された値を使用して運賃を計算します。
9	4 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。
10	5 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。

時間制貸切運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する時間制貸切運賃プロフィール ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	outputDistances	ブール値	距離呈適用後距離取得フラグ true の場合レスポンスに距離呈適用後距離 (distances) が出力されます。
4	records	配列	計算レコード配列の配列
5	(名称なし)	配列	計算レコード配列
6	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー 最大長：64 文字 同じ取り纏めキーの計算レコードは一つにまとめて計算され、重量 (4 番目の要素) の値で按分されます。 未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
7	2 番目の要素	数値	開始時間 (HHmm 形式) 8 時 5 分は 0805、15 時 30 分は 1530 です。 4 時間制貸切運賃計算 (運賃種別 131) の場合に使用します。8 時間制貸切運賃計算 (運賃種別 130) の場合は使用しないので 0 にしてください。
8	3 番目の要素	数値	作業時間 (分) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
9	4 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
10	5 番目の要素	数値	距離 (km) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) -1：距離呈から取得した距離で運賃を計算します。 0 以上：入力された値を使用して運賃を計算します。
11	6 番目の要素	文字列	発地住所コード (8 桁までの住所コード (半角)) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。
12	7 番目の要素	文字列	着地住所コード (8 桁までの住所コード (半角)) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。

宅配運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する宅配運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) 運賃表の運賃種別が 140 の場合、重量または三辺計の大きい方を計算に使用します。
6	2 番目の要素	数値	三辺計 (cm) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) 運賃表の運賃種別が 140 の場合、重量または三辺計の大きい方を計算に使用します。
7	3 番目の要素	文字列	発地住所コード 運賃種別 140 の場合 5 桁までの住所コード (半角) 運賃種別 141 の場合 8 桁までの住所コード (半角)
8	4 番目の要素	文字列	着地住所コード 運賃種別 140 の場合 5 桁までの住所コード (半角) 運賃種別 141 の場合 8 桁までの住所コード (半角)

箱単価運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する箱単価運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	数値	箱数 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
6	2 番目の要素	数値	1 箱重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
7	3 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角)
8	4 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角)

トンキロ運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用するトンキロ運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	outputDistances	ブール値	距離呈適用後距離取得フラグ true の場合レスポンスに距離呈適用後距離 (distances) が出力されます。
4	records	配列	計算レコード配列の配列
5	(名称なし)	配列	計算レコード配列
6	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー (最大長 : 64 文字) 取り纏めキーと車両の最大積載量が同じ計算レコードは一つにまとめて計算され、積荷の重量 (3 番目の要素) の値で按分されます。未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
7	2 番目の要素	数値	車両の最大積載量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
8	3 番目の要素	数値	積荷の重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
9	4 番目の要素	数値	距離 (km) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで) -1 : 距離呈から取得した距離で運賃を計算します。 0 以上 : 入力された値を使用して運賃を計算します。
10	5 番目の要素	文字列	発地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。
11	6 番目の要素	文字列	着地住所コード 8 桁までの住所コード (半角) 距離呈から距離を取得する場合に使用します。

地域別運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する地域別運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー 最大長：64 文字まで 取り纏めキーと住所コードが同じ計算レコードは一つにまとめて計算され、重量(2 番目の要素) の値で按分されます。未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
6	2 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
7	3 番目の要素	文字列	住所コード 8 桁までの住所コード (半角)

特殊コード運賃計算のボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	id	文字列	計算に使用する特殊コード運賃プロファイル ID
2	date	文字列	計算基準日 (yyyyMMdd 形式) 2022 年 1 月 1 日の場合、20220101 です。
3	records	配列	計算レコード配列の配列
4	(名称なし)	配列	計算レコード配列
5	1 番目の要素	文字列	取り纏めキー 最大長：64 文字 取り纏めキーと職種コードが同じ計算レコードは一つにまとめて計算され、重量 (2 番目の要素) の値で按分されます。未入力の場合は 1 レコードずつ計算されます。
6	2 番目の要素	数値	重量 (kg) 0 以上 2,147,483,647 以下の値 (小数第四位まで)
7	3 番目の要素	文字列	特殊コード 最大長：半角 67 文字、全角 33 文字

● レスポンス

項番	項目	内容
1	HTTP ヘッダー	Content-Type: application/json; charset=utf-8
2	HTTP ボディ	JSON

ボディ (JSON)

項番	フィールド名	データ型	内容
1	errorCode	数値	エラーコード (成功時は 0)
2	errorMessage	文字列	エラーメッセージ (成功時は空)
3	fares	配列	<p>運賃 (数値型) の配列 計算できない場合、運賃は負数になります。</p> <p>-1: 計算に失敗しました。 -2: パラメーターが異常です。 -3: 運賃表に該当する運賃が見つかりません。 -4: 計算中にオーバーフローが発生しました。</p>
4	disatances	配列	<p>距離呈適用後距離 (数値型) の配列 リクエストでoutputDistanceがtrueの場合に出力されます。</p> <p>距離が取得できない場合、距離は負数になります。</p> <p>-1: 取得に失敗しました。 -2: パラメーターが異常です。 -3: 距離呈に該当する距離が見つかりません。 -4: 計算中にオーバーフローが発生しました。</p>

● 例

リクエストボディ (積上げ運賃計算)

```
{
  "id": "sample100",
  "date": "20010101",
  "outputDistances": true,
  "records": [
    ["", 2, "", ""],
    ["", -1, "13103", "13101"]
  ]
}
```

リクエストボディ (積合せ運賃計算)

```
{
  "id": "sample110",
  "date": "20010101",
  "outputDistances": true,
  "records": [
    ["", 100, 100, "", ""],
    ["", 150, -1, "13103", "13101"]
  ]
}
```

リクエストボディ (距離制貸切運賃計算)

```
{
  "id": "sample120",
  "date": "20010101",
  "outputDistances": true,
  "records": [
    ["", 100, 100, "", ""],
    ["", 150, -1, "13103", "13101"]
  ]
}
```


リクエストボディ (時間制貸切運賃計算)

```
{
  "id": "sample131",
  "date": "20010101",
  "outputDistances": true,
  "records": [
    ["",800,240,100,100,"",""],
    ["",800,240,1500,-1,"13103","13101"]
  ]
}
```

リクエストボディ (宅配運賃計算)

```
{
  "id": "sample140",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [50,50,"13","01"],
    [30,100,"13","02"]
  ]
}
```

リクエストボディ (箱単価運賃計算)

```
{
  "id": "sample150",
  "date": "20010101",
  "records": [
    [10,5,"13","01"],
    [30,100, "13103","01100"]
  ]
}
```

リクエストボディ（トンキロ運賃計算）

```
{
  "id": "sample160",
  "date": "20010101",
  "outputDistances": true,
  "records": [
    ["",3000,1500,700,"",""],
    ["",3000,500,-1,"13103","13101"]
  ]
}
```

リクエストボディ（地域別運賃計算）

```
{
  "id": "sample170",
  "date": "20010101",
  "records": [
    ["",100,"13103"],
    ["",50,"13101"]
  ]
}
```

リクエストボディ（特殊コード運賃計算）

```
{
  "id": "sample180",
  "date": "20010101",
  "records": [
    ["",10,"A"],
    ["",50,"D"]
  ]
}
```

レスポンスボディ (distance を出力)

```
{  
  "errorCode": 0,  
  "errorMessage": "",  
  "fares": [700,1700],  
  "distances": [2,4.8]  
}
```

レスポンスボディ (distance を出力しない)

```
{  
  "errorCode": 0,  
  "errorMessage": "",  
  "fares": [700,1700]  
}
```

4. 8 エラーコード一覧

エラーコード	説明
100	ユーザーID またはパスワードが正しくありません。
101	ユーザーアカウントが見つかりませんでした。
102	管理者以外でログオンしようとしてしました。
103	アカウントがロックされています。
104	計算可能上限回数に達しました。
105	許可されていない IP から Admin でログオンしようとしてしました。
200	計算用トークンが全て使用されています。
201	計算用トークンが見つかりませんでした。
202	計算用トークン作成時にエラーが発生しました。
203	計算用トークン削除時にエラーが発生しました。
204	計算用トークン作成に失敗しました。
205	計算用トークンのチェック中にエラーが発生しました。
206	有効期限切れ計算用トークンの削除中にエラーが発生しました。
207	計算用トークンを使って他の処理を実行中です。
208	計算用トークンの解放中にエラーが発生しました。
209	計算用トークンの処理前の更新中にエラーが発生しました。
210	計算用トークンの処理後の更新中にエラーが発生しました。
211	関連付けられなかった計算用トークンの削除に失敗しました。
400	同じ運賃表が既に登録されています。
401	指定された運賃表が見つかりませんでした。
402	運賃表の変換に失敗しました。
403	同じ運賃表 ID で異なる運賃種別の運賃表が登録済みです。
404	運賃種別が正しくありません。
405	運賃計算に失敗しました。
406	運賃計算中にエラーが発生しました。
407	運賃表取得中にエラーが発生しました。
408	運賃表登録中にエラーが発生しました。
409	運賃表削除中にエラーが発生しました。
410	運賃表の一覧を取得中にエラーが発生しました。
411	登録できる運賃表数の上限に達しています。
412	計算レコード数が上限を超えています。
413	計算レコードが正しくありません。
500	同じ距離呈が既に登録されています。

(次のページへ続く)

(前のページから続き)

エラーコード	説明
501	指定された距離呈が見つかりませんでした。
502	距離呈の変換に失敗しました。
503	同じ距離呈 ID で異なる距離呈種別の距離呈が登録済みです。
504	距離呈種別が正しくありません。
505	距離の取得に失敗しました。
506	距離の取得中にエラーが発生しました。
507	距離呈取得中にエラーが発生しました。
508	距離呈登録中にエラーが発生しました。
509	距離呈削除中にエラーが発生しました。
510	距離呈の一覧を取得中にエラーが発生しました。
511	登録できる距離呈数の上限に達しています。
512	計算レコード数が上限を超えています。
513	計算レコードが正しくありません。
600	同じ運賃プロファイルが既に登録されています。
601	指定された運賃プロファイルが見つかりませんでした。
602	運賃プロファイルの変換に失敗しました。
603	運賃プロファイル種別が不正です。
604	運賃プロファイル ID が長すぎます。
605	運賃プロファイル名称が長すぎます。
606	同じ運賃プロファイル ID で異なる運賃プロファイル種別の運賃プロファイルが登録済みです。
607	運賃プロファイルによる運賃計算に失敗しました。
608	運賃プロファイルによる運賃計算中にエラーが発生しました。
609	条件が合わないので取り纏めに失敗しました。
610	運賃プロファイル取得中にエラーが発生しました。
611	運賃プロファイル登録中にエラーが発生しました。
612	運賃プロファイル削除中にエラーが発生しました。
613	運賃プロファイルの一覧を取得中にエラーが発生しました。
614	登録できる運賃プロファイル数の上限に達しています。
615	計算レコード数が上限を超えています。
616	取り纏めキーが長すぎます。
617	計算レコードが正しくありません。
700	計算基準日が読み取れませんでした。
701	適用開始日が読み取れませんでした。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

エラーコード	説明
702	計算回数の更新中にエラーが発生しました。
703	計算回数の更新に失敗しました。
704	登録するファイルのサイズが上限を超えています。

5. ファイル書式

5. 1 共通の仕様

- ファイル形式
運賃表ファイル、距離呈ファイル、運賃プロファイルファイルは文字コードがシフト JIS (CP932) で改行コードが CR/LF のタブ区切りテキストファイルです。
- ID と適用開始日
運賃表 ID と適用開始日と同じ運賃表を重複して登録することはできません。
距離呈 ID と適用開始日と同じ距離呈を重複して登録することはできません。
運賃プロファイル ID と適用開始日と同じ運賃プロファイルを重複して登録することはできません。
ただし運賃表・距離呈・運賃プロファイルは互いに独立して管理しているので、運賃表・距離呈・運賃プロファイル間で同じ ID を使用して登録することは可能です。
- ID と種別
同じ運賃表 ID の運賃表は同じ運賃種別でないと登録することはできません。
同じ距離呈 ID の距離呈は同じ距離呈種別でないと登録することはできません。
同じ運賃プロファイル ID の運賃プロファイルは同じ運賃プロファイル種別でないと登録することはできません。

5. 2 運賃表

(1) 積上げ運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所に入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3
1	運賃種別	100 ①	
2	運賃表 ID	sample ②	
3	運賃表名称	サンプル ③	
4	適用開始日	20010101 ④	
5			0 ⑤
6	2 ⑥	0 ⑦	660 ⑧
7	-1	0.274	80

⑥距離、⑦距離の追加単位、⑧運賃は下方方向に行を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 100 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	最低運賃	最低運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
6	距離	距離の上限 (単位はキロメートル) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 2 という数値は「2km まで」という意味です。末尾に-1 の行を入力してください。-1 という数値は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に距離で行を昇順に並び替えます。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
7	距離の追加単位	距離による追加運賃が生じる単位 (単位はキロメートル) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「2km までは追加運賃なし、2km を超えて 0.274km までを増すごとに追加運賃あり」となります。
8	運賃	運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 距離の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。距離の追加単位が 0 を超える場合は、距離の追加単位ごとの追加運賃となります。この例の場合は「2km までは 660 円、2km を超えて 0.274km までを増すごとに 80 円を追加する」となります。

(2) 積合せ運賃表 (標準/四捨五入なし)

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	110 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
5			50	100	⑤ 1000	-1
6			0	0	⑥ 0	100
7	10	0	800	810	910	10
8	20 ⑦	0 ⑧	880	900	⑨ 1190	31
9	30	0	960	980	1380	43
10	-1	10	90	100	200	74

⑤距離、⑥距離の追加単位は右方向に列を増やせます。

⑦重量、⑧重量の追加単位は下方向に行を増やせます。

⑨運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 110 (半角) : 積合せ運賃 (標準) 111 (半角) : 積合せ運賃 (四捨五入なし)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長 : 半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長 : 半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例 : 2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	距離	距離の上限 (単位はキロメートル) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に距離で列を昇順に並び替えます。
6	距離の追加単位	距離による追加運賃が生じる単位 (単位はキロメートル) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「1000km までは追加運賃なし、1000km を超えて 100km までを増すごとに追加運賃あり」となります。 積合せ運賃 (標準) の場合は追加運賃が生じた場合に、計算結果運賃の 10 円未満を四捨五入します。
7	重量	積荷の重量の上限 (単位はキログラム) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 末尾に-1 の行を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に重量で行を昇順に並び替えます
8	重量の追加単位	重量による追加運賃が生じる単位 (単位はキログラム) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「30kg までは追加運賃なし、30kg を超えて 10kg までを増すごとに追加運賃あり」となります。 積合せ運賃 (標準) の場合は追加運賃が生じた場合に、計算結果運賃の 10 円未満を四捨五入します。
9	運賃	運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 距離や重量の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。距離や重量の追加単位が 0 を超える場合は、距離や重量の追加単位ごとの追加運賃となります。積合せ運賃 (標準) の場合は追加運賃が生じた場合に、計算結果運賃の 10 円未満を四捨五入します。

(3) 距離制貸切運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所に入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	120 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
5			1000	5000 ⑤	12000	-1
6			0	0 ⑥	0	2000
7	10	0	5540	10680	19030	1940
8	100 ⑦	0 ⑧	20810	30470 ⑨	43830	3970
9	500	20	1650	2390	3390	390
10	-1	50	4130	5980	8510	920

⑤重量、⑥重量の追加単位は右方向に列を増やせます。

⑦距離、⑧距離の追加単位は下方向に行を増やせます。

⑨運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 120 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	重量	運搬車両の積載量の上限 (単位はキログラム) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に重量で列を昇順に並び替えます

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
6	重量の追加単位	重量による追加運賃が生じる単位 (単位はキログラム) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「12000kg までは追加運賃なし、12000kg を超えて 2000kg までを増すごとに追加運賃あり」となります。
7	距離	距離の上限 (単位はキロメートル) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 末尾に-1 の行を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のために、距離で行を昇順に並び替えます。
8	距離の追加単位	距離による追加運賃が生じる単位 (単位はキロメートル) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「100km までは追加運賃なし、100km を超えて 500km までは 20km までを増すごとに追加運賃あり、500km を超えて 50km までを増すごとに追加運賃あり」となります。
9	運賃	運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 距離や重量の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。距離や重量の追加単位が 0 を超える場合は、距離や重量の追加単位ごとの追加運賃となります。

(4) 時間制貸切運賃表 (8時間制/4時間制)

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	130 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
5					480 ⑧	
6					60 ⑨	10 ⑩
7	80	1000	0	21660	2110	410
8	100 ⑤	5000 ⑥	0 ⑦	36280 ⑪	3530 ⑫	530 ⑬
9	100	14000	0	56040	5470	830
10	100	-1	2000	4480	460	60

⑤基本距離、⑥重量、⑦重量、⑪重量による運賃、⑫時間による追加運賃、⑬距離による追加運賃は下方向に行を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 130 (半角) : 8時間制貸切運賃 131 (半角) : 4時間制貸切運賃
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長 : 半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長 : 半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例 : 2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	基本距離	各重量の基本距離 (単位はキロメートル) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
6	重量	車両の積載量の上限 (単位はキログラム) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 末尾に-1 の行を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に重量で行を昇順に並び替えます
7	重量の追加単位	重量による追加運賃が生じる単位 (単位はキログラム) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「14000kg までは追加運賃なし、14000kg を超えて 2000kg までを増すごとに追加運賃あり」となります。
8	基本時間	基本となる貸切時間 (単位は分) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
9	時間の追加単位	追加運賃が生じる時間の単位 (単位は分) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「基本時間を超えて 60 分までを増すごとに追加運賃あり」となります。
10	距離の追加単位	距離による追加運賃が生じる単位 (単位はキロメートル) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) この例の場合は「基本距離を超えて 10km までを増すごとに追加運賃あり」となります。
11	重量による運賃	運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 重量の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。重量の追加単位が 0 を超える場合は重量の追加単位ごとの追加運賃となります。
12	時間による追加運賃	時間による追加運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
13	距離による追加運賃	距離による追加運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)

(5) 宅配運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	140 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
4			1	10 ⑤	30	-1
5			0	0 ⑥	0	10
6	0814	0114	350	600	1110	140
7	0814 ⑦	1524 ⑧	340	500 ⑨	790	140
8	0814	2535	340	490	760	140
9	0814	3647	340	500	810	140

⑤重量やサイズ、⑥重量やサイズの追加単位は右方向に列を増やせます。

⑦発地住所コード、⑧着地住所コードは下方向に行を増やせます。

⑨運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 140 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	重量やサイズ	<p>荷物の重量の上限（単位はキログラム）やサイズの上限（単位はセンチメートル）</p> <p>-1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に重量やサイズで列を昇順に並び替えます。</p>
6	重量やサイズの追加単位	<p>荷物の重量やサイズによる追加運賃が生じる単位（単位はキログラムまたはセンチメートル）</p> <p>0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） この例の場合は「30kg までは追加運賃なし、30kg を超えて 10kg までを増すごとに追加運賃あり」となります。</p>
7	発地住所コード	<p>発地の住所コードの範囲</p> <p>0101 以上 4747 以下、01000000 以上 47999999 以下の整数（半角） 都道府県コードを使用する場合は、上 2 桁に小さい方の都道府県コードを、下 2 桁に大きい方の都道府県コードを入力してください。 一つの県の場合は両方同じ値を入力してください。</p> <p>（例） 福岡（40）から鹿児島（46）までは 4046 青森（02）から福島（13）までは 0213 または 213 東京（13）のみは 1313</p> <p>市区町村コードを使用する場合、同じ都道府県内の範囲を指定できます。上 5 桁に小さい方の市区町村コードを、下 3 桁は大きい方の市区町村コードの下 3 桁を入力してください。</p> <p>（例） 夕張（01209）から根室（01223）の場合、小さい夕張のコードに根室の下 3 桁を追加して 01209223 となります。</p> <p>上 2 桁に都道府県コードを入力して下 6 桁を 0 にすると、上 2 桁で指定した都道府県内のコード全てに適合します。</p> <p>（例） 01000000 の場合、01001~01999 のコードに適合します。</p> <p>本サービスは上から入力された順番に適合する住所コードを探索します。そのため適合する住所コードが見つかった場合、それ以降の行は探索しません。入力する場合には計算の優先度が高い順番に上から入力してください。</p>
8	着地住所コード	<p>着地の住所コードの範囲</p> <p>0101 以上 4747 以下、01000000 以上 47999999 以下の整数（半角） 詳しくは 7 の発地住所コードを参照してください。</p>

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
9	運賃	<p>運賃（単位は円）</p> <p>0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで）</p> <p>重量やサイズの追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。重量やサイズの追加単位が 0 を超える場合は、重量やサイズの追加単位ごとの追加運賃となります。</p>

(6) 宅配運賃表 (重量・三辺計)

宅配運賃 (三辺計・重量) は、三辺計で計算した運賃と重量で計算した運賃を比較して、大きい方を計算結果運賃とします。ただし、どちらかの運賃が負数 (エラー値) になった場合、計算結果運賃は負数となります。

入力例) 太枠で囲まれた箇所に入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
1	運賃種別	141	①									
2	運賃表 ID	sample	②									
3	運賃表名称	サンプル	③									
4	適用開始日	200101	④									
5				60	100	160	180	⑤	260	-2	-1	
6				2	10	30	-2	⑥	-2	50	-1	
7				0	0	0	0	⑦	0	10	0	
8	13000	01000	北海道	1188	1728	2268	3078	6318	270	-1		
9	13000	⑧	⑨	⑩	864	1404	1944	2754	⑪	5994	270	-1
10	13000	02000	青森県		864	1404	1944	2754	5994	270	-1	
11	13000	03000	岩手県		864	1404	1944	2754	5994	270	-1	
11	13000	04000	宮城県	756	1296	1836	2646	5886	270	-1		

⑤三辺計、⑥重量、⑦三辺計または重量の追加単位は右方向に列を増やせます。

⑧発地住所コード、⑨着地住所コード、⑩コメントは下方向に行を増やせます。

⑪運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 141 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長: 半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長: 半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例: 2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	三辺計	<p>荷物の三辺計の上限（単位はセンチメートル）</p> <p>-2、-1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。-2 を入力すると、三辺計での運賃を計算するときその列を無視します。三辺計欄が全て-2 の場合は、三辺計での運賃を計算しません。本サービスは運賃表登録時に三辺計と重量で列を昇順に並び替えます。</p>
6	重量	<p>荷物の重量の上限（単位はキログラム）</p> <p>-2、-1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。-2 を入力すると、重量での運賃を計算するときその列を無視します。重量欄が全て-2 の場合は、重量での運賃を計算しません。本サービスは運賃表登録時に三辺計と重量で列を昇順に並び替えます。</p>
7	三辺計または重量の追加単位	<p>三辺計または重量で追加運賃が生じる単位（単位はセンチメートルまたはキログラム）</p> <p>0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 追加料金を入力する場合は、三辺計の追加料金と重量の追加料金を同じ列で入力することはできませんので、片方ずつ設定してください。</p>
8	発地住所コード	<p>発地の住所コード</p> <p>0、または 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード（半角） 東京 23 区や政令指定都市単位でも指定できます（6. 政令指定都市住所コードを参照してください）。また「0」の場合は全国という意味になります。</p> <p>計算される優先順位は、 8 桁のコードが等しい > 市区町村（5 桁のコードが等しい） > 東京 23 区と政令指定都市 > 都道府県 > 全国 の順になります。本サービスは運賃表登録時に発地住所コードと着地住所コードで行を昇順に並び替えます。</p>
9	着地住所コード	<p>着地の住所コード</p> <p>0、または 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード（半角） 詳しくは 8 の発地住所コードを参照してください。</p>
10	コメント	<p>市区町村名などを入力することができます。</p>

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
11	運賃	運賃 (単位は円) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 三辺計または重量が-1 で追加単位が 0 の場合は、-1 も入力できます。三辺計または重量の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。三辺計または重量の追加単位が 0 を超える場合は、三辺計または重量の追加単位ごとの追加運賃となります。三辺計で計算した運賃または重量で計算した運賃が-1 になった場合は、計算結果運賃は-1 となります。例えば「三辺計の上限 260cm または重量の上限 50kg を超えた場合に運賃の計算を失敗させたい」場合に-1 を入力します。

(7) 箱単価運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	運賃種別	150 ①								
2	運賃表 ID	sample ②								
3	運賃表名称	サンプル ③								
4	適用開始日	200101 ④								
5					0	0	0 ⑤	30	30	30
6					0	8	13 ⑥	0	8	13
7	13103	01669	0	50	820	980	1250	450	600	850
8	13103	01661	0	50	820	980	1250	450	600	850
9	13103 ⑦	01100 ⑧	0 ⑨	5 ⑩	700	820	109 ⑪	360	500	650
10	13103	01234	0	50	700	820	1090	360	500	650
11	13000	01000	0	50	820	980	1250	450	600	850

⑤箱数、⑥1箱重量は右方向に列を増やせます。

⑦発地住所コード、⑧着地住所コード、⑨最低運賃、⑩集荷作業料は下方向に行を増やせます。

⑪1箱あたり運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 150 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022年1月1日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	箱数	対象となる箱数の下限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 「30」は「30 箱以上」となります。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に箱数と 1 箱重量で列を昇順に並び替えます。
6	1 箱重量	1 箱の重量の下限 (単位はキログラム) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 「13」は「13kg 以上」となります。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に箱数と 1 箱重量で列を昇順に並び替えます。
7	発地住所コード	発地の住所コード 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード (半角) 東京 23 区や政令指定都市単位でも指定できます (例 13100 = 東京 23 区)。 計算される優先順位は、 8 桁のコードが等しい > 市区町村 (5 桁のコードが等しい) > 東京 23 区と政令指定都市 > 都道府県 の順になります。 (例) A (発地 13103、着地 01669)、B (発地 13000、着地 01669) というデータがあり計算時に (発地 13103、着地 01669) と指定した場合、AB は両方とも条件を満たしますが A のデータで計算されます。 本サービスは運賃表登録時に発地住所コードと着地住所コードで行を降順に並び替えます。
8	着地住所コード	着地の住所コード 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード (半角) 詳しくは 7 の発地市区町村コードを参照してください。
9	最低運賃	最低運賃 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
10	集荷作業量	1 箱あたりの集荷作業料 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
11	1 箱あたりの運賃	1 箱あたりの単価 (単位は円) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)

(8) トンキロ運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所に入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	160 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
5			2000	4000 ⑤	10000	-1
6			20000	25000 ⑥	35000	35000
7	200	0	1800	1000	650	650
8	400 ⑦	0 ⑧	2500	1370 ⑨	880	880
9	600	0	2800	1500	1100	1100
10	-1	10	200	180	150	150

- ⑤重量、⑥最低運賃は右方向に列を増やせます。
- ⑦距離、⑧距離の追加単位は下方向に行を増やせます。
- ⑨運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 160 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	重量	車両の積載量の上限 (単位はキログラム) -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に車両の最大積載量で列を昇順に並び替えます。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
6	最低運賃	車両の大きさごとの最低保障運賃（単位は円） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 1kg あたりの単価と単位が異なりますのでご注意ください。
7	距離	距離の上限（単位はキロメートル） -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 末尾に-1 の行を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に距離で行を昇順に並び替えて変換します。
8	距離の追加単位	距離による追加運賃が生じる単位（単位はキロメートル） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） この例の場合は「600km までは追加運賃なし、600km を超えて10km までを増すごとに追加運賃あり」となります。
9	運賃	1kg あたりの単価（単位は銭） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 最低運賃と単位が異なりますのでご注意ください。距離の追加単位が0 の場合は固定単価となります。距離の追加単位が0 を超える場合は、距離の追加単位ごとの追加単価となります。運賃計算の結果は円単位ですので、計算後に1円未満の値は切り捨てとなります。

(9) 地域別運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所に入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	170 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
5			1	2 ⑤	3	-1
6			0	0 ⑥	0	1
7	00000	全国	1000	2000	3000	1000
8	13000	東京都	950	1900	2850	950
9	13100 ⑦	東京 2 3 ⑧	900	1800 ⑨	2700	900
10	13103	港区	850	1700	2550	850
11	13201	八王子市	800	1600	2400	800

⑤重量または個数、⑥重量または個数の追加単位は右方向に列を増やせます。

⑦住所コード、⑧コメントは下方向に行を増やせます。

⑨運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 170 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	重量または個数	荷物の重量または個数の上限（単位はキログラムまたは個） -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に列を昇順に並び替えます。
6	重量または個数の追加単位	荷物の重量または個数の追加運賃が生じる単位（単位はキログラムまたは個） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） この例の場合は「3kg までは追加運賃なし、3kg を超えて 1kg までを増すごとに追加運賃あり」となります。
7	住所コード	住所コード 0、または 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード（半角） 東京 23 区や政令指定都市単位でも指定できます（例 13100 = 東京 23 区）。また「0」の場合は全国という意味になります。 計算される優先順位は、 8 桁のコードが等しい > 市区町村（5 桁のコードが等しい） > 東京 23 区と政令指定都市 > 都道府県 > 全国 の順になります。 本サービスは運賃表登録時に住所コードで行を昇順に並び替えます。
8	コメント	市区町村名などを入力することができます。
9	運賃	運賃（単位は円） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 重量または個数の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。重量または個数の追加単位が 0 を超える場合は、重量または個数の追加単位ごとの追加運賃となります。

(10) 特殊コード運賃表

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4	5	6
1	運賃種別	180 ①				
2	運賃表 ID	sample ②				
3	運賃表名称	サンプル ③				
4	適用開始日	2001010 ④				
5			1	2 ⑤	3	-1
6			0	0 ⑥	0	1
7	A	A 地区	1000	2000	3000	1000
8	B	B 地区	950	1900	2850	950
9	C ⑦	C 地区 ⑧	900	1800 ⑨	2700	900
10	D	D 地区	850	1700	2550	850
11	E	E 地区	800	1600	2400	800

⑤重量または個数、⑥重量または個数の追加単位は右方向に列を増やせます。

⑦特殊コード、⑧コメントは下方向に行を増やせます。

⑨運賃は下方向と右方向に行と列を増やせます。

項番	項目	内容
1	運賃種別	運賃表の種類 180 (半角)
2	運賃表 ID	運賃表の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	運賃表名称	運賃表の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	運賃表を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	重量または個数	荷物の重量または個数の上限（単位はキログラムまたは個） -1、0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 末尾に-1 の列を入力してください。-1 という数字は、「前の項目を超える場合」という意味です。本サービスは計算処理の効率化のため、運賃表登録時に列を昇順に並び替えます。
6	重量または個数の追加単位	荷物の重量または個数の追加運賃が生じる単位（単位はキログラムまたは個） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） この例の場合は「3kg までは追加運賃なし、3kg を超えて 1kg までを増すごとに追加運賃あり」となります。
7	特殊コード	特殊コード 最大長：半角 67 文字、全角 33 文字 大文字と小文字や全角文字と半角文字は別の文字として判定します。必ず 1 文字以上入力する必要があります。本サービスは運賃表登録時に特殊コードで行を昇順に並び替えます。
8	コメント	特殊コードに関するコメントを入力できます。
9	運賃	運賃（単位は円） 0 以上 2,147,483,647 以下の数値（半角で小数第四位まで） 重量または個数の追加単位が 0 の場合は固定運賃となります。重量または個数の追加単位が 0 を超える場合は、重量または個数の追加単位ごとの追加運賃となります。

5.3 距離呈

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	3	4
1	距離呈種別	1000 ①		
2	距離呈 ID	sample ②		
3	距離呈名称	サンプル ③		
4	適用開始日	20010101 ④		
5				
6	13103	13101	千代田区	4.8
7	13103 ⑤	13102 ⑥	中央区 ⑦	3.0 ⑧
8	13103	13103	港区	0.0

⑤発地住所コード、⑥着地住所コード、⑦コメント、⑧距離は下方向に行を増やせます。

項番	項目	内容
1	距離呈種別	距離呈の種類 1000 (半角)
2	距離呈 ID	距離呈の識別コード 最大長：半角 31 文字、全角 15 文字
3	距離呈名称	距離呈の名称 最大長：半角 63 文字、全角 31 文字
4	適用開始日	距離呈を適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	発地住所コード	発地の住所コード 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード (半角)
6	着地住所コード	着地の住所コード 2 桁・5 桁・8 桁の住所コード (半角)
7	コメント	コメント
8	距離	距離 (単位は km) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)

5.4 運賃プロファイル

(1) 積上げ運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロファイル種別	100 ①
2	運賃プロファイル ID	sample ②
3	運賃プロファイル名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	tsumiage100 ⑤
6	距離呈 ID	distance1000 ⑥
7	取り纏めキー使用フラグ	1 ⑦
8	取り纏め時パラメーター種別	1 ⑧
9	パラメーター端数処理単位	1 ⑨
10	パラメーター端数処理種別	1 ⑩
11	運賃修正掛け率	1.1 ⑪
12	運賃端数処理 1 単位	100 ⑫
13	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑬
14	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑭
15	運賃端数処理 2 単位	500 ⑮
16	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑯

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 100 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長 : 32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長 : 64 文字

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例: 2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長: 31 文字 運賃種別が 100 の運賃表の ID を入力してください。
6	距離呈 ID	計算に使用する距離呈の ID 最大長: 31 文字 距離呈を使用しない場合は空にしてください。
7	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角): 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角): 取り纏めキーが同じ計算レコードを取り纏めて計算する
8	取り纏め時パラメーター種別	計算レコードを取り纏めて計算する場合のパラメーター値の決め方 0 (半角): 取り纏めた計算レコードの先頭行の値 1 (半角): 取り纏めた計算レコードの一番大きい値 2 (半角): 取り纏めた計算レコードの合計値
9	パラメーター端数処理単位	パラメーター値の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
10	パラメーター端数処理種別	パラメーター値の端数処理方法 0 (半角): 端数を切り捨て 1 (半角): 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角): 端数を切り上げ
11	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
12	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
13	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
14	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の場合、運賃端数処理 2 を行います。
15	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。
16	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(2) 積合せ運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロファイル種別	110 ①
2	運賃プロファイル ID	sample ②
3	運賃プロファイル名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	tsumiawase110 ⑤
6	距離呈 ID	distance1000 ⑥
7	取り纏めキー使用フラグ	1 ⑦
8	取り纏め時距離種別	1 ⑧
9	重量端数処理単位	1 ⑨
10	重量端数処理種別	1 ⑩
11	運賃修正掛け率	1.1 ⑪
12	運賃端数処理 1 単位	100 ⑫
13	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑬
14	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑭
15	運賃端数処理 2 単位	500 ⑮
16	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑯

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 110 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長 : 32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長 : 64 文字

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例: 2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長: 31 文字 運賃種別が 110 の運賃表の ID を入力してください。
6	距離呈 ID	計算に使用する距離呈の ID 最大長: 31 文字 距離呈を使用しない場合は空にしてください。
7	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角): 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角): 取り纏めキーが同じ計算レコードを取り纏めて計算する
8	取り纏め時距離種別	計算レコードを取り纏めて計算する場合の距離の決め方 0 (半角): 取り纏めた計算レコードの先頭行の値 1 (半角): 取り纏めた計算レコードの中で一番大きい重量のレコードの値 2 (半角): 取り纏めた計算レコードの一番大きい値
9	重量端数処理単位	重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
10	重量端数処理種別	重量の端数処理方法 0 (半角): 端数を切り捨て 1 (半角): 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角): 端数を切り上げ
11	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
12	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
13	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
14	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の場合、運賃端数処理 2 を行います。
15	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。
16	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(3) 距離制貸切運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロファイル種別	120 ①
2	運賃プロファイル ID	sample ②
3	運賃プロファイル名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	kyorikashikiri120 ⑤
6	距離呈 ID	distance1000 ⑥
7	取り纏めキー使用フラグ	1 ⑦
8	取り纏め時距離種別	1 ⑧
9	重量端数処理単位	1 ⑨
10	重量端数処理種別	1 ⑩
11	運賃修正掛け率	1.1 ⑪
12	運賃端数処理 1 単位	100 ⑫
13	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑬
14	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑭
15	運賃端数処理 2 単位	500 ⑮
16	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑯

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 120 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長 : 32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長 : 64 文字

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例: 2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長: 31 文字 運賃種別が 120 の運賃表の ID を入力してください。
6	距離呈 ID	計算に使用する距離呈の ID 最大長: 31 文字 距離呈を使用しない場合は空にしてください。
7	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角): 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角): 取り纏めキーが同じ計算レコードを取り纏めて計算する
8	取り纏め時距離種別	計算レコードを取り纏めて計算する場合の距離の決め方 0 (半角): 取り纏めた計算レコードの先頭行の値 1 (半角): 取り纏めた計算レコードの中で一番大きい重量のレコードの値 2 (半角): 取り纏めた計算レコードの一番大きい値
9	重量端数処理単位	重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
10	重量端数処理種別	重量の端数処理方法 0 (半角): 端数を切り捨て 1 (半角): 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角): 端数を切り上げ
11	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
12	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
13	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
14	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の場合、運賃端数処理 2 を行います。
15	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。
16	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(4) 時間制貸切運賃プロフィール

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロフィール種別	130 ①
2	運賃プロフィール ID	sample ②
3	運賃プロフィール名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	Jikankashikiri130 ⑤
6	距離呈 ID	distance1000 ⑥
7	取り纏めキー使用フラグ	1 ⑦
8	取り纏め時作業時間種別	1 ⑧
9	取り纏め時距離種別	1 ⑨
10	重量端数処理単位	1 ⑩
11	重量端数処理種別	1 ⑪
12	運賃修正掛け率	1.1 ⑫
13	運賃端数処理 1 単位	100 ⑬
14	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑭
15	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑮
16	運賃端数処理 2 単位	500 ⑯
17	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑰

項番	項目	内容
1	運賃プロフィール種別	運賃プロフィールの種類 130 (半角)
2	運賃プロフィール ID	距離呈の識別コード 最大長 : 32 文字
3	運賃プロフィール名称	運賃プロフィールの名称 最大長 : 64 文字

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例: 2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長: 31 文字 運賃種別が 130 と 131 の運賃表の ID を入力してください。
6	距離呈 ID	計算に使用する距離呈の ID 最大長: 31 文字 距離呈を使用しない場合は空にしてください。
7	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角): 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角): 取り纏めキーが同じ計算レコードを取り纏めて計算する
8	取り纏め時作業時間種別	計算レコードを取り纏めて計算する場合の作業時間の決め方 0 (半角): 取り纏めた計算レコードの先頭行の値 1 (半角): 取り纏めた計算レコードの中で一番大きい値 2 (半角): 取り纏めた計算レコードの合計値
9	取り纏め時距離種別	計算レコードを取り纏めて計算する場合の距離の決め方 0 (半角): 取り纏めた計算レコードの先頭の値 1 (半角): 取り纏めた計算レコードの中で一番大きい重量のレコードの値 2 (半角): 取り纏めた計算レコードの一番大きい値
10	重量端数処理単位	重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
11	重量端数処理種別	重量の端数処理方法 0 (半角): 端数を切り捨て 1 (半角): 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角): 端数を切り上げ
12	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
13	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象 上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の 場合、端数処理を行いません。
14	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
15	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満 の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の 場合、運賃端数処理 2 を行います。
16	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象 上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の 場合、端数処理を行いません。
17	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(5) 宅配運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所に入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	
1	運賃プロファイル種別	140	①
2	運賃プロファイル ID	sample	②
3	運賃プロファイル名称	サンプル	③
4	適用開始日	20010101	④
5	運賃表 ID	parcel140	⑤
6	重量端数処理単位	1	⑥
7	重量端数処理種別	1	⑦
8	運賃修正掛け率	1.1	⑧
9	運賃端数処理 1 単位	100	⑨
10	運賃端数処理 1 処理種別	1	⑩
11	運賃端数処理 1 対象上限	10000	⑪
12	運賃端数処理 2 単位	500	⑫
13	運賃端数処理 2 処理種別	1	⑬

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 140 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長：32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長：64 文字
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長：31 文字 運賃種別が 140 と 141 の運賃表の ID を入力してください。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
6	重量端数処理単位	重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
7	重量端数処理種別	重量の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
8	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
9	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象 上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の 場合、端数処理を行いません。
10	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
11	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満 の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の 場合、運賃端数処理 2 を行います。
12	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象 上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の 場合、端数処理を行いません。
13	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(6) 箱単価運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロファイル種別	150 ①
2	運賃プロファイル ID	sample ②
3	運賃プロファイル名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	percase150 ⑤
6	運賃修正掛け率	1.1 ⑥
7	運賃端数処理 1 単位	100 ⑦
8	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑧
9	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑨
10	運賃端数処理 2 単位	500 ⑩
11	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑪

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 150 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長：32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長：64 文字
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長：31 文字 運賃種別が 150 の運賃表の ID を入力してください。
6	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
7	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象 上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の 場合、端数処理を行いません。
8	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
9	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満 の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の 場合、運賃端数処理 2 を行います。
10	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象 上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の 場合、端数処理を行いません。
11	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(7) トンキロ運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロファイル種別	160 ①
2	運賃プロファイル ID	sample ②
3	運賃プロファイル名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	tonkm160 ⑤
6	距離呈 ID	distance1000 ⑥
7	取り纏めキー使用フラグ	1 ⑦
8	取り纏め時距離種別	1 ⑧
9	重量端数処理単位	1 ⑨
10	重量端数処理種別	1 ⑩
11	運賃修正掛け率	1.1 ⑪
12	運賃端数処理 1 単位	100 ⑫
13	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑬
14	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑭
15	運賃端数処理 2 単位	500 ⑮
16	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑯

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 160 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長 : 32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長 : 64 文字

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例: 2022 年 1 月 1 日は 20220101)
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長: 31 文字 運賃種別が 160 の運賃表の ID を入力してください。
6	距離呈 ID	計算に使用する距離呈の ID 最大長: 31 文字 距離呈を使用しない場合は空にしてください。
7	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角) : 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角) : 取り纏めキーと車輛の最大積載量が同じ計算レコードを取り纏めて計算する
8	取り纏め時距離種別	計算レコードを取り纏めて計算する場合の距離の決め方 0 (半角) : 取り纏めた計算レコードの先頭行の値 1 (半角) : 取り纏めた計算レコードの中で一番大きい重量のレコードの値 2 (半角) : 取り纏めた計算レコードの一番大きい値
9	重量端数処理単位	積荷の重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
10	重量端数処理種別	積荷の重量の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
11	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
12	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
13	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
14	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の場合、運賃端数処理 2 を行います。
15	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。
16	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(8) 地域別運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2
1	運賃プロファイル種別	170 ①
2	運賃プロファイル ID	sample ②
3	運賃プロファイル名称	サンプル ③
4	適用開始日	20010101 ④
5	運賃表 ID	area170 ⑤
6	取り纏めキー使用フラグ	1 ⑥
7	重量端数処理単位	1 ⑦
8	重量端数処理種別	1 ⑧
9	運賃修正掛け率	1.1 ⑨
10	運賃端数処理 1 単位	100 ⑩
11	運賃端数処理 1 処理種別	1 ⑪
12	運賃端数処理 1 対象上限	10000 ⑫
13	運賃端数処理 2 単位	500 ⑬
14	運賃端数処理 2 処理種別	1 ⑭

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 170 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長：32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長：64 文字
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例：2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長：31 文字 運賃種別が 170 の運賃表の ID を入力してください。
6	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角) : 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角) : 取り纏めキーと住所コードが同じ計算レコードを取り纏めて計算する
7	重量端数処理単位	重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
8	重量端数処理種別	重量の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
9	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
10	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。
11	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
12	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の場合、運賃端数処理 2 を行います。
13	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
14	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

(9) 特殊コード運賃プロファイル

入力例) 太枠で囲まれた箇所にデータを入力してください。太枠以外は無視されます。

行/列	1	2	
1	運賃プロファイル種別	180	①
2	運賃プロファイル ID	sample	②
3	運賃プロファイル名称	サンプル	③
4	適用開始日	20010101	④
5	運賃表 ID	code180	⑤
6	取り纏めキー使用フラグ	1	⑥
7	重量端数処理単位	1	⑦
8	重量端数処理種別	1	⑧
9	運賃修正掛け率	1.1	⑨
10	運賃端数処理 1 単位	100	⑩
11	運賃端数処理 1 処理種別	1	⑪
12	運賃端数処理 1 対象上限	10000	⑫
13	運賃端数処理 2 単位	500	⑬
14	運賃端数処理 2 処理種別	1	⑭

項番	項目	内容
1	運賃プロファイル種別	運賃プロファイルの種類 180 (半角)
2	運賃プロファイル ID	距離呈の識別コード 最大長 : 32 文字
3	運賃プロファイル名称	運賃プロファイルの名称 最大長 : 64 文字
4	適用開始日	運賃プロファイルを適用する年月日 yyyyMMdd 形式 (半角) で 19700101 から 30001231 まで (例 : 2022 年 1 月 1 日は 20220101)

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
5	運賃表 ID	計算に使用する運賃表の ID 最大長：31 文字 運賃種別が 180 の運賃表の ID を入力してください。
6	取り纏めキー使用フラグ	計算レコード取り纏め計算フラグ 0 (半角) : 計算レコードを取り纏めず計算する 1 (半角) : 取り纏めキーと特殊コードが同じ計算レコードを取り纏めて計算する
7	重量端数処理単位	重量の端数処理単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 0 の場合、端数処理を行いません。
8	重量端数処理種別	重量の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
9	運賃修正掛け率	運賃表から算出した運賃に対して掛ける値 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで)
10	運賃端数処理 1 単位	運賃端数処理 1 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限未満の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。
11	運賃端数処理 1 処理種別	運賃端数処理 1 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ
12	運賃端数処理 1 対象上限	運賃端数処理 1 を適用する運賃の上限 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が入力された値未満の場合、運賃端数処理 1 を行います。入力された値以上の場合、運賃端数処理 2 を行います。
13	運賃端数処理 2 単位	運賃端数処理 2 の単位 (丸め幅) 0 以上 2,147,483,647 以下の数値 (半角で小数第四位まで) 運賃修正掛け率を適用した後の運賃が運賃端数処理 1 対象上限以上の場合の運賃端数処理単位 (丸め幅) です。0 の場合、端数処理を行いません。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

項番	項目	内容
14	運賃端数処理 2 処理種別	運賃端数処理 2 の端数処理方法 0 (半角) : 端数を切り捨て 1 (半角) : 50%未満切り捨て、50%以上切り上げ 2 (半角) : 端数を切り上げ

6. 端数処理、按分処理

6. 1 端数処理

運賃表を使った運賃計算では下表のように数値が端数処理されます。

項番	項目	端数処理
1	数値型のパラメーターと計算結果運賃	小数第四位まで (小数第五位を四捨五入)

運賃プロファイルを使った運賃計算では下表のように数値が端数処理されます。

項番	項目	端数処理	
1	プロファイルで端数処理の方法が指定できない数値型のパラメーター	小数第四位まで (小数第五位を四捨五入)	
2	プロファイルで端数処理の方法が指定できる数値型のパラメーターと計算結果運賃	端数処理単位が 0 (端数処理しない)	小数第四位まで (小数第五位を四捨五入)
		端数処理単位が 0 より 大きい	プロファイルで指定した方法 で端数処理

運賃プロファイルによる端数処理の例

項番	端数処理する数値	端数処理単位	端数処理種別	結果数値
1	1234.56789	0 (端数処理しない)	0,1,2 どれでも	1234.5679
2		0.1	0 (切り捨て)	1234.5
3			1 (四捨五入)	1234.6
4			2 (切り上げ)	1234.6
5		1	0 (切り捨て)	1234
6			1 (四捨五入)	1235
7			2 (切り上げ)	1235
8		100	0 (切り捨て)	1200
9			1 (四捨五入)	1200
10			2 (切り上げ)	1300

6. 2 按分処理

運賃プロファイルを使用した運賃計算では、取り纏めキーが同じ計算レコードをまとめて運賃を計算し、計算結果運賃を各計算レコードで按分することができます。

按分計算は、端数処理後の計算結果運賃を、基準とする数値の割合でレコードごとに分割し、これに端数処理を適用した値をレコードに割り当てます。残余が発生した場合は按分値が最大のレコードに加算します。

按分時に基準とする数値は下表の通りです。

項番	運賃種別	按分の基準とする数値
1	積上げ運賃	距離などのパラメーター
2	積合せ運賃・距離制貸切運賃・時間制貸切運賃・地域別運賃・特殊コード運賃	重量
3	トンキロ運賃	積荷の重量

計算結果運賃、按分値の端数処理は運賃プロファイルの運賃端数処理単位によって変わります(下表)。

項番	運賃端数処理単位	按分後の運賃の端数処理
1	0 (端数処理しない)	小数第四位まで (小数第五位を切り捨て)
2	0 より大きい	整数の場合 1 円単位 (小数第一位を切り捨て)
3		小数の場合 運賃端数処理単位と同じ小数部の桁数 例えば、運賃端数処理単位が 0.1 の場合、小数第一位 (小数第二位を切り捨て)

積合せ運賃計算で計算結果運賃が 10000 の場合の按分例

項番	計算結果運賃	運賃端数処理単位	重量	按分後の運賃
1	10000	0 (端数処理しない)	10	1666.6666
2			20	3333.3333
3			30	5000.0001
4		0.1	10	1666.6
5			20	3333.3
6			30	5000.1
7		1	10	1666
8			20	3333
9			30	5001
10		100	10	1666
11			20	3333
12			30	5001

7. 政令指定都市住所コード

本サービスでは、宅配運賃表（重量・三辺計）、箱単価運賃表、地域別運賃表、距離呈に下表の政令指定都市住所コードを使用することができます。政令指定都市住所コードは総務省が定めたコードではなく、弊社が独自に定めたコードです。

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
01101	01100	札幌市中央区
01102	01100	札幌市北区
01103	01100	札幌市東区
01104	01100	札幌市白石区
01105	01100	札幌市豊平区
01106	01100	札幌市南区
01107	01100	札幌市西区
01108	01100	札幌市厚別区
01109	01100	札幌市手稲区
01110	01100	札幌市清田区
04101	04100	仙台市青葉区
04102	04100	仙台市宮城野区
04103	04100	仙台市若林区
04104	04100	仙台市太白区
04105	04100	仙台市泉区
11101	11100	さいたま市西区
11102	11100	さいたま市北区
11103	11100	さいたま市大宮区
11104	11100	さいたま市見沼区
11105	11100	さいたま市中央区
11106	11100	さいたま市桜区
11107	11100	さいたま市浦和区
11108	11100	さいたま市南区
11109	11100	さいたま市緑区
11110	11100	さいたま市岩槻区
12101	12100	千葉市中央区
12102	12100	千葉市花見川区
12103	12100	千葉市稲毛区
12104	12100	千葉市若葉区

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
12105	12100	千葉市緑区
12106	12100	千葉市美浜区
13101	13100	千代田区
13102	13100	中央区
13103	13100	港区
13104	13100	新宿区
13105	13100	文京区
13106	13100	台東区
13107	13100	墨田区
13108	13100	江東区
13109	13100	品川区
13110	13100	目黒区
13111	13100	大田区
13112	13100	世田谷区
13113	13100	渋谷区
13114	13100	中野区
13115	13100	杉並区
13116	13100	豊島区
13117	13100	北区
13118	13100	荒川区
13119	13100	板橋区
13120	13100	練馬区
13121	13100	足立区
13122	13100	葛飾区
13123	13100	江戸川区
14101	14100	横浜市鶴見区
14102	14100	横浜市神奈川区
14103	14100	横浜市西区
14104	14100	横浜市中区
14105	14100	横浜市南区
14106	14100	横浜市保土ヶ谷区
14107	14100	横浜市磯子区
14108	14100	横浜市金沢区
14109	14100	横浜市港北区

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
14110	14100	横浜市戸塚区
14111	14100	横浜市港南区
14112	14100	横浜市旭区
14113	14100	横浜市緑区
14114	14100	横浜市瀬谷区
14115	14100	横浜市栄区
14116	14100	横浜市泉区
14117	14100	横浜市青葉区
14118	14100	横浜市都筑区
14131	14130	川崎市川崎区
14132	14130	川崎市幸区
14133	14130	川崎市中原区
14134	14130	川崎市高津区
14135	14130	川崎市多摩区
14136	14130	川崎市宮前区
14137	14130	川崎市麻生区
14151	14150	相模原市緑区
14152	14150	相模原市中央区
14153	14150	相模原市南区
15101	15100	新潟市北区
15102	15100	新潟市東区
15103	15100	新潟市中央区
15104	15100	新潟市江南区
15105	15100	新潟市秋葉区
15106	15100	新潟市南区
15107	15100	新潟市西区
15108	15100	新潟市西蒲区
22101	22100	静岡市葵区
22102	22100	静岡市駿河区
22103	22100	静岡市清水区
22131	22130	浜松市中区
22132	22130	浜松市東区
22133	22130	浜松市西区
22134	22130	浜松市南区

(次ページに続く)

政令指定都市住所コード

(前ページからの続き)

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
22135	22130	浜松市北区
22136	22130	浜松市浜北区
22137	22130	浜松市天竜区
22138	22130	浜松市中央区
22139	22130	浜松市浜名区
22140	22130	浜松市天竜区
23101	23100	名古屋市千種区
23102	23100	名古屋市東区
23103	23100	名古屋市北区
23104	23100	名古屋市西区
23105	23100	名古屋市中村区
23106	23100	名古屋市中区
23107	23100	名古屋市昭和区
23108	23100	名古屋市瑞穂区
23109	23100	名古屋市熱田区
23110	23100	名古屋市中川区
23111	23100	名古屋市港区
23112	23100	名古屋市南区
23113	23100	名古屋市守山区
23114	23100	名古屋市緑区
23115	23100	名古屋市名東区
23116	23100	名古屋市天白区
26101	26100	京都市北区
26102	26100	京都市上京区
26103	26100	京都市左京区
26104	26100	京都市中京区
26105	26100	京都市東山区
26106	26100	京都市下京区
26107	26100	京都市南区
26108	26100	京都市右京区
26109	26100	京都市伏見区
26110	26100	京都市山科区
26111	26100	京都市西京区
27102	27100	大阪市都島区

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
27103	27100	大阪市福島区
27104	27100	大阪市此花区
27106	27100	大阪市西区
27107	27100	大阪市港区
27108	27100	大阪市大正区
27109	27100	大阪市天王寺区
27111	27100	大阪市浪速区
27113	27100	大阪市西淀川区
27114	27100	大阪市東淀川区
27115	27100	大阪市東成区
27116	27100	大阪市生野区
27117	27100	大阪市旭区
27118	27100	大阪市城東区
27119	27100	大阪市阿倍野区
27120	27100	大阪市住吉区
27121	27100	大阪市東住吉区
27122	27100	大阪市西成区
27123	27100	大阪市淀川区
27124	27100	大阪市鶴見区
27125	27100	大阪市住之江区
27126	27100	大阪市平野区
27127	27100	大阪市北区
27128	27100	大阪市中央区
27141	27140	堺市堺区
27142	27140	堺市中区
27143	27140	堺市東区
27144	27140	堺市西区
27145	27140	堺市南区
27146	27140	堺市北区
27147	27140	堺市美原区
28101	28100	神戸市東灘区
28102	28100	神戸市灘区
28105	28100	神戸市兵庫区
28106	28100	神戸市長田区

(次ページに続く)

政令指定都市住所コード

(前ページからの続き)

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
28107	28100	神戸市須磨区
28108	28100	神戸市垂水区
28109	28100	神戸市北区
28110	28100	神戸市中央区
28111	28100	神戸市西区
33101	33100	岡山市北区
33102	33100	岡山市中区
33103	33100	岡山市東区
33104	33100	岡山市南区
34101	34100	広島市中区
34102	34100	広島市東区
34103	34100	広島市南区
34104	34100	広島市西区
34105	34100	広島市安佐南区
34106	34100	広島市安佐北区
34107	34100	広島市安芸区
34108	34100	広島市佐伯区
40101	40100	北九州市門司区
40103	40100	北九州市若松区
40105	40100	北九州市戸畑区
40106	40100	北九州市小倉北区
40107	40100	北九州市小倉南区
40108	40100	北九州市八幡東区
40109	40100	北九州市八幡西区
40131	40130	福岡市東区
40132	40130	福岡市博多区
40133	40130	福岡市中央区
40134	40130	福岡市南区
40135	40130	福岡市西区
40136	40130	福岡市城南区
40137	40130	福岡市早良区
43101	43100	熊本市中央区
43102	43100	熊本市東区
43103	43100	熊本市西区

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

市区町村コード	政令指定都市住所コード	名称
43104	43100	熊本市南区
43105	43100	熊本市北区

8. サンプルプログラム

サンプルプログラムはACT ホームページから無償でダウンロード可能です。

<https://www.act-inc.co.jp/contents/dl/fare/>

9. 注意事項

ACT 運賃計算サービスはメンテナンスのため定期的に再起動しています。
再起動の間（0.1～0.2 秒）に送られたリクエストには **HTTP** ステータスコード **503** が返ります。
そのため作成するプログラムにはリクエスト失敗時のリトライ処理を実装することをお勧めしま
す。

以上